

「本所おけら長屋」シリーズ200万部突破！人気作家・畠山健二原案×絵本作家・ふくだのぞみ作 絵本『いよっ！えどっこだねえ』刊行！イベント開催のお知らせ

株式会社理論社(本社:東京都千代田区, 代表取締役社長:鈴木博喜)は『いよっ！えどっこだねえ』(作:ふくだのぞみ 原案:畠山健二)を2024年7月8日(火)に発売いたしました。また発売を記念し、8月1日(木)には紀伊國屋書店新宿本店で、8月30日(金)にてジュンク堂書店池袋本店(オンラインイベントも同時開催)など各地・有力書店にトークイベントを開催いたします。是非ご期待くださいませ。



作：ふくだのぞみ 原案：畠山健二
本体1,650円(税込)
ISBN978-4-652-20619-5
B5変型判上製
32ページ

【内容】

てぬぐいをハチマキにして頭にまいたら、おいらは今日から江戸っ子でい。町へとびだして、重い荷物をかかえたおばあさんを背負ったり(人助け)、いじめっ子をとがめたり(けんか好き)、泣いてる子どもをなぐさめたり(人情深い)と、あれこれ大奮闘。でも、雨がふってきて……。馬鹿馬鹿しくもジーンと沁みる人情絵本。「本所おけら長屋」シリーズの人気作家、畠山健二の解説付き。イメージソング「えどっこでい！」の楽譜付き。

【畠山健二先生からコメント】

日本人は多くのものを心から失ってきました。そのひとつが“恥”です。子どもに道徳心を教えるのには3つのパターンがあると思うのです。

「困っている人がいたら助けてあげましょう！」という推進系。

「弱い者いじめをしてはいけません！」という否定系。

そして3つ目が……。この絵本を通じて子どもたちに伝えたかったのは、自分の心に対する戒めです。

江戸っ子はよくこんな言葉を口にします。「てめえはそれでも江戸っ子か」「江戸っ子 この面汚しでえ」「未代までの恥でえ」……。そこには「意地」「矜持」「自尊心」といった、己の心に対する問いかけが感じとれます。

「こんなことをしてしまったら恥かしい……」それは、だれかに対してではなく、自分に対して思うことなのです。馬鹿馬鹿しい江戸っ子気質を通じて、そんな思いが少しでも子どもたちに伝われば嬉しいです。

日本はまだ大丈夫です！

【イベント情報】

8/1(木)18:30～紀伊國屋書店新宿本店3階アカデミック・ラウンジ

<https://store.kinokuniya.co.jp/event/1719640635/>

8/9(金)14:00～浜書房バース店 <https://www.kumabook.com/event/107878/>

8/25(日)14:00～廣文館イトーヨーカドー曳舟店

8/29(木)14:00～長谷川書店ネスパ茅ヶ崎店

8/30(金)19:00～ジュンク堂書店池袋本店(オンライン配信あり)

<https://online.maruzenjunkudo.co.jp/products/j70019-240830>



ふくだのぞみ

絵本作家・イラストレーター・保育士。第15回ピンポイント絵本コンペ最優秀賞受賞。主な作品に「どっちどっちほいくえん」(こぐま社)、「おしゃれヘアのカーリーさん」(岩崎書店)、「こめたのみ一つけたシリーズ」(旅行読売出版社)、「ぼくの猫ちゃん」(よしながゆきこ作 タリーズコーヒージャパン株式会社)がある。



畠山 健二

1957年生まれ。墨田区育ち。演芸の台本執筆や演出、雑誌のコラム連載やものかき塾の講師を務め、2012年『スプラッシュマンション』で作家デビュー。翌年より刊行の「本所おけら長屋」シリーズは、庶民の笑いと涙を描いて幅広い世代を魅了し、200万部超の大ベストセラーとなる。その他の著書に『下町呑んだくれグルメ道』、『超入門！江戸を楽しむ古典落語』、『粋と野暮 おけらの人生』。共著に『猿と猿回し』、絵本原案に『いよっ！えどっこだねえ』がある。